

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 名張市立箕曲小学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒 5 1 8 - 0 4 4 1

三重県名張市夏見 3 5 1

E-mail g01_e-minowa@nabari-mie.ed.jp

Website _____

幼児児童生徒数 男子 5 8 名 女子 4 4 名 合計 1 0 2 名

幼児・児童・生徒の年齢 6 歳 ~ 1 2 歳

2. 報告期間

平成 2 9 年 4 月 ~ 平成 3 0 年 3 月

※報告書提出時点 ~ 平成 3 0 年 3 月末までの活動は、予定 (見込み) として記載ください。

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項 1-1、2-1 に対応

当校は、「自ら進んでまなび、心身ともに健康で、人間性豊かなたくましい 箕曲の子」を教育目標として、ESD を地域の「人・もの・こと」を活用した「共育」「郷育」活動と捉え、ESD の実践を通して、子どもたちに自分たちが住んでいる地域の良さに気づき、よりよい未来を創っていかうとする力、思考力・判断力・表現力、豊かな心の育成を目標とした。具体的には、地域・文化、食、環境、交際理解を柱に①地域の人・もの・ことにかかわる学習、②食に関わる活動、③環境に係わる学習、④国際理解に係わる活動を行った。

① 地域の人・もの・ことに係わる学習

「町探検をしよう」～自分の町を好きになろう～

子どもたちは実際に町を探検し、自分の家の周りの素敵なところを友だちどうし紹介合った。また、地域で働く人にインタビューに出かけたり、地域のお米屋さんを見学したりした。

「発見！みのわの“キラリさん”」

TOY'S FACTORYの方、ベビーフェイスプラネッツ名張店にお勤めの方、大屋戸製菓の方、箕曲市民センターの皆さんを始めとして、多くの方に出会い、お話を聞かせていただいたり、貴重な体験をさせていただいたりした。

② 食に関わる活動

「さつまいもをそだてよう」

児童会の縦割り班を生かした1,2年生のペアを作り、さつまいもの植え付けや収穫、料理をそのペアを生かして行った。2年生が1年生に植え方や掘り方の見本を示したり、収穫したさつまいもを縦割り班に分かれて1,2年生で調理したりした。

「“食”について考えよう」～I LOVE “米”～

米作りについて、実際に餅米作りを体験しながら、米の種類・歴史・おいしい米作りの条件・米作りへの思い・米作りの1年について、調べ学習をしたり、地域で米作りをしている方にインタビューしたりして米作りのことを学んだ。また、学んだことを、全校もちつき大会のときに発表やクイズなどで地域の方々やPTA役委員の方々にも伝えることができた。

③ 環境に係わる学習

「安心して暮らせる環境について考えよう」

まず、箕曲地域にある関西リサイクルを見学した。その後、市役所の方に来ていただいてチャッパ車・パッカー車を見せていただいたり、近鉄ガスの方に来ていただいて「エコミサンガ」作りに取り組んだりした。子どもたちは学習後、だれもがよりよい暮らしをするために身近なところから自分たちにできることがあると気づき、自分に出来ることを考えて実行した。

④国際理解に係わる活動

「オーストラリアの子どもと交流しよう」

5月末に昨年度から交流しているオーストラリアの小学校の子どもたち9名と校長先生、教頭先生が修学旅行の一環で来校した。6年生が英語で自己紹介ゲームをしたり「幸せなら手をたたこう」の歌を英語で一緒に歌ったり、ハンカチ落としを一緒にしたりした。また、グループに分かれて日本のシンボルを英語で紹介する活動を行った。その後、5年生と一緒に運動会で踊るエイサーを見てもらい、オーストラリアの子どもたちからは、クリケットを教えてもらった。給食の時間には、早く食べたグループから、折り紙の折り方を教えた。

① の写真（地域の人）



② の写真（さつまいも）



③ の写真（環境）



④ の写真（オーストラリアの子どもとの交流）



(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input checked="" type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input checked="" type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input checked="" type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input checked="" type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 10. 食育	<input checked="" type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input checked="" type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input checked="" type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input checked="" type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input checked="" type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間（複数選択可）

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材（書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名）

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

学校経営計画の重点目標の1つの具体的な方策として、「学期に1回は地域の『人・もの・こと』と出会う活動や探求的な学習を取り入れ、ESD 教育やキャリア教育の視点を大切にした学習に取り組む。」と明記している。ESD 単独の年間計画は立てていないが、それぞれの年間計画の中に ESD の内容を入れ、児童の実態に合わせて指導法を工夫している。（だれと出合わせるか、何を学ばせるか、どのような発問や支援を行うと効果が上がるか、どのようにまとめさせるかなど）

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

以下の取組を行っている。

- ・ どのような「人・もの・こと」に出会わせるか、随時、情報交換を行うとともに、「人・もの・こと」出会いシートに記録して、次年度活用できるようにする。
- ・ 校内研修会等で実践交流を行い、取組内容を共有するようにしている。
- ・ 学校支援ボランティアの方との連携を密にし、校外の見学や授業支援がしやすい体制をつくっている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

「学校経営計画」の重点的な取組事項の中に ESD 教育を明記し、それぞれの教職員が実践したことをもとに、学校自己評価を行う。その後、学校評議委員や学校関係者評価委員に説明して意見をもらい、今後の改善に生かすようにしている。どの学年も「人・もの・こと」と出会う活動を積極的に取り入れた学習を行うことが定着してきた。（成果）しかし、ESD の視点をもって学習を進めたか、どのような力がついたかを検証するところまでは至っていないので、今後取り組んでいきたい。（課題）

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

- ・ 学校便り・学年便りで地域・保護者に発信する。…取組内容の周知
- ・ 三重大学で行われるユネスコスクール発表会の冊子資料に掲載していただき本校の実践を発信する。…本校のまとめと学校外の方に発信

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

オーストラリアの Kingswood Primary School と交流している。昨年度はスカイプを使って交流を試みた。本年度は修学旅行の一環で Kingswood Primary School の子どもたち9名と校長先生、教頭先生が来校し、自己紹介ゲーム、歌、ハンカチ落とし、日本のシンボルを英語で紹介する活動をした。また、5年生と一緒に運動会で踊るエイサーを見てもらったり、クリケットを教えてもらったりした。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

※未実施

しかし、各学年で実施した内容については、学年便りや学校便りで必要に応じて保護者や地域の方に発信したり、年度末に校内で各学年の主な実践を交流したりして、実践を発信・共有するようにしている。

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

「人・もの・こと」との出会いを行うに当たって、地域や保護者の方にゲスト・ティーチャーになってもらったり、地域にある店や職場を見学したりすることによって、児童が地域・保護者を知り地域・保護者の方も児童とのふれあいができ双方の関係が深まった。

- (3) 平成 30 年度の活動計画（200～400字程度）

ユネスコスクール拠点校として、ESD の視点を大切にした教育活動のさらなる充実を努めたい。そのために、以下のことを行う。

- ・ 本校が行う ESD のねらい・重点事項や年間計画を作成し、計画的・系統的に指導する体制を整える。
- ・ 校内研修会でユネスコスクールとして取り組む ESD について研修を行い、教職員の共通理解を図る。
- ・ 年度末に実践交流を行い、学校全体の成果と課題を明らかにして次年度の改善に生かす。